

**不況の中での「14歳の挑戦」の受け入れについて**

**稲垣議員** 不況の影響と21年度実施計画について

**教育長** 今年度は5月に第1回推進委員会を開催したが、工場協会からは、今年度の受け入れについては、例年になく厳しい状況であると伺っていた。実際に、8月末まで受け入れの辞退や受け入れ人数を減らした事業所は、あわせて5事業所となったため、今年度は新たな受け入れ先として、警察署、消防署、小学校、文芸会館、美術館、図書館、市役所など、市内官公庁を中心に29事業所を確保した。

今年度の実施計画については、10月5日から9日までの5日間で、過去最多の506名の中学2年生が、152事業所において取り組む計画である。

この「社会に学ぶ14歳の挑戦事業」は、砺波の明日を担う生徒、その家族をはじめ、砺波市にとっても大変意義深く、大切な事業の一つであり、今後とも砺波市の各事業所の皆様をはじめ、関係各位のご理解とご協力を賜り、継続していきたいと考えている。

**笑顔があふれる福祉のまちづくりについて**

**嶋村議員** 新型インフルエンザの児童生徒への感染予防指導等について

**教育委員会事務局長** 市の小中学校長会を通じ、感染予防対策として児童生徒の健康観察をはじめ、せきエチケット、うがい、手洗いの励行に加え、家庭においてインフルエンザ様症状が見られるときは登校を控え、医療機関で受診すること等を児童生徒や保護者に文書でお知らせし、協力をお願いしている。



来校者用消毒液等

また、児童生徒がA型インフルエンザと診断された場合には、保護者から学校、学校から厚生センターと市教委へ連絡し、その後の保護者や学

校の対応については厚生センターから指導、助言を受ける体制となっている。

なお、2学期の始業に合わせ、8月末、小中学校全校に来校者用の消毒液と教職員用のマスクを配付している。

**「庄川水辺プラザ」整備事業について**

**村岡議員** 進捗状況及び事業着工と完成時期について

**建設水道部長** 国土交通省と市の協議内容に基づき、過日地元の庄川町庄地区で説明会を開催し、関係者のご理解を得たところである。

国土交通省は庄川の渇水時期に合わせ、10月に基盤整備工事等を発注する予定と聞いている。市は、庄川水辺プラザ実施設計業務を今年の5月末に発注したところであり、現在、受注業者が現地測量を行い、パークゴルフ場のコース取りなどの詳細設計を行っているところである。業務委託の工期は、平成22年2月末となっており、それまでに地元関係者及びパークゴルフ愛好者を含めた推進協議会を立ち上げ、ご意見を聞きながら、市民から広く愛される、よりよい施設に整備していきたい。

工事は平成22年度に着手し、事業完了予定は平成25年度末と考えている。



庄川水辺プラザ建設予定地周辺

**公共交通網の整備について**

**大楠議員** 高齢者の外出支援について

**福祉市民部長** 福祉バスの運行路線の追加及び運行していない日の弾力的な運行については、路線バスやタクシー会社などの営利企業との調整が必要であり、また、助成を受ける際の目的から外れることなどから難しいものと考えている。

**水道料金、下水道料金について**

**多田議員** 旧庄川町の住民にとって負担増となることについて

**建設水道部長** 水道料金は1市2制度の運営だったが、今回、平等公平の原則や市としての一体感の確保の観点から、合併協議の方針どおり、順次調整するものである。具体的には、水道料金単価を平成22年度から平成24年度まで、旧

これからの超高齢社会の対応や障害者のノーマライゼーションを進めるには、高齢者や障害者の生活領域を広げ、地域内の移動方法を確保するという考え方は非常に大切なことである。乗り合いタクシーの運行については、自治振興会単位でのタクシーの借り上げや、タクシー券の発行など、幾つかの自治体で取り組まれているが、多くの課題が考えられる。例えば、運転免許を返還された高齢者の方への外出支援としてタクシー券の配布を検討するなど、全国で行われている事例の有効性を検証しながら、実効性のある高齢者の外出支援施策を検討してまいりたい。

砺波市給水区域は段階的に値下げをし、旧庄川町給水区域は急激な負担増を緩和するために、3年間で段階的に値上げを行い、平成24年度から統一しようとするものである。

下水道料金についても、合併前の砺波市区域の単価に一元化を図ろうとするものである。水道料金と同様に3年間で段階的に調整する経過措置を設け、平成24年度から統一を図るもので、長期的に安定した運営ができるよう、それぞれ最大限努力していきたいのでご理解を賜りたい。

**雇用破壊が進んでいるが、歯止め策を**

**前田議員** 雇用の創出への取り組みについて

**上田市長** 砺波管内の有効求人倍率が0.24と極めて低い数字となり、正社員のみでは0.17とさらに低い数字となっている。特に、来春卒業する高校生の就職口を大変心配している。人生のスタートの第一歩であり、働く場所がしっかりと見つかるように、我々も努力していきたいと考えている。

市としては、公共事業の早期発注や国の緊急雇用対策

を活用するとともに、現在進めている大型プロジェクトや企業誘致を進めることにより、新たな雇用の創出と一刻も早い景気回復を図りたい。

今後、景気回復により、雇用状況が好転し、非正規雇用の割合が少なくなることが望ましいと考えており、雇用保険や社会保険などの社会保障制度、いわゆるセーフティネットの充実が図られるべきである。

**委員会の質疑より**

**産業建設常任委員会**

9月14日

- ・農工商連携特産促進事業
- ・水道施設の設備投資の状況
- ・市営住宅の地上デジタル化対応工事
- ・農工商連携による販売戦略
- ・土地区画整理（杉木・中神地区）事業の進捗状況
- ・水道料金の格差問題と合併効果
- ・大辻の養豚場の現状と対策
- ・庄川左岸農地防災事業

**民生病院常任委員会**

9月15日

- ・総合病院の車椅子型アイコンレーター導入
- ・医師の面談手数料、時間区

**総務文教常任委員会**

9月16日

- 分の根拠
- 増改築中の斎場の進捗状況
- 庄川健康プラザ温水プール遮光フィルムの設置
- 出産費資金貸付基金の利用状況
- セカンドオピニオンと院内総合窓口との整合性
- ◎9月15日に調査研究の一環として、北部苑及び砺波誠友病院の状況について視察を実施した。

**9月定例会提出案件**

**【予算】**

- ◎平成21年度砺波市一般会計補正予算（第4号）

- 要保護・準要保護児童、生徒の就学援助費
- 増山城跡国史跡の今後の事業計画
- 小中学校ICT環境整備事業
- 公用車の環境対応車への更新事業
- 小学校低学年学習サポート支援事業
- 砺波北部小学校の耐震改修事業の今後の計画
- 小中学校の下水道処理
- 学校給食の基本的なあり方と運営方法

- ◎平成21年度砺波市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
  - ◎平成21年度砺波市霊苑事業特別会計補正予算（第1号）
  - ◎平成21年度砺波市病院事業会計補正予算（第1号）
- （以上全会一致可決）

**【条例】**

- ◎砺波市国民健康保険条例の一部改正について
  - ◎砺波市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について
  - ◎砺波市斎場条例の一部改正について
  - ◎砺波市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
  - ◎砺波市国民健康保険出産費資金貸付基金条例の廃止について
- （以上全会一致可決）

害賠償の額の決定について  
（全会一致可決）

◎平成20年度砺波市一般会計歳入歳出決算認定について  
外9件  
（継続審査）

**【報告】**

◎専決処分報告について  
・損害賠償請求に係る和解及び損害賠償の額の決定について

**【議員提出議案】**

◎地方自治の継続性を守るための予算執行を求める意見書について  
（賛成多数可決）

**【人事】**

◎人権擁護委員の候補者の推薦  
西脇 順祐 氏  
（適任）

**【請願審査結果】**

◎後期高齢者医療制度の中止・撤廃の意見書を求める請願  
（不採択）

**★全国市議会議長会代表中国**

**友好訪問団**★  
期間 10月15日～22日  
参加議員 林 忠男議員

**議会改革検討委員会を**  
**設置しました**

（目的）議員定数や議会運営に関することを来年3月定例会まで改革案を提示できるように検討する任意の委員会

## 伝統文化の継承と 人々の交流の促進に向けて ～出町子供歌舞伎曳山会館がオープン～

10月10日、いよいよ出町子供歌舞伎曳山会館が開館しました。上田市長や砺波子供歌舞伎曳山振興会の五島会長など関係者が会館前でテープカットを行い、大勢の市民とともに新しい文化施設の誕生を祝いました。

同会館は、県指定無形民俗文化財である「出町子供歌舞伎曳山」の保存と振興を図るため中央町地内に新設されたもので、3基の曳山と一緒に収納できる大型の展示室や、浄瑠璃や三味線などの文化芸能の発表の場として利用できる芝居小屋風のホールなどを備えています。市では、この会館を人々の交流の拠点として活用することとしています。

開館にあたり、上田市長は、「出町子供歌舞伎曳山の振興をはじめ、文化活動、公民館活動、自治会活動など多方面に活用していただき、広く市民の皆さんに親しんでいただきたい」とあいさつしました。

また、開館を記念して、NHKの葛西聖司アナウンサーが伝統文化を継承することの大切さをテーマに講演したほか、東曳山の皆さんが“こけら落とし”として出町子供歌舞伎を上演しました。



「出町浄瑠璃大会」が開かれます

日時 11月22日(日) 午後3時～

主催 砺波子供歌舞伎曳山振興会・出町公民館



## 体を動かそう! 今日には体育の日

～となみ庄川水辺ウォーク&スポーツフェスティバルinとなみ～



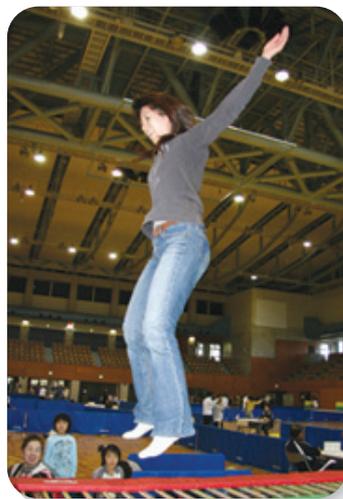
体育の日の10月12日、庄川河川敷で「となみ庄川水辺ウォーク」が行われました。これは、自らの健康管理のため運動しようという意識が高まる中、より多くの市民にウォーキングに親んでもらおうと、砺波市体育振興会連絡協議会が開催したもので、今年で3回目となります。

コースは、「庄川水辺ふれあいロード」などを通る4kmまたは6kmの2コース。

晴天となったこの日、子どもから大人までおよそ400人が参加し、

心地よい川風を受けながら、のびのびとウォーキングを楽しみました。

また、この日、県西部体育センターなどでは「スポーツフェスティバルinとなみ」が開催されました。無料開放された各施設で、トランポリンやヨガ、エアロピクスなどの体験イベントが催され、大勢の市民が思い思いにスポーツに親しまいました。



## 秋風にそよぐ可憐な花びら

～コスモスウォッチング～

10月3日から18日までの16日間、となみ夢の平スキー場で、砺波市の4大花イベントの一つ、「となみ夢の平コスモスウォッチング」が行われました。

6品種100万本のコスモスが、およそ2.4ヘクタールのなだらかなゲレンデいっばいに咲き並び、県内外から訪れた大勢の家族連れなどが、花々の間をぬっての散策を楽しみました。



期間中の8日、大型の台風18号の最接近によりコスモスが倒れ、一時イベントの続行も危ぶまれる状況となりましたが、好天が続いた10日からの3連休にはコスモスが姿勢をもちなおし、以後は例年どおり、可憐な花びらが秋風にそよぐ様子を目にすることができました。

土・日・祝日にはペアリフトが運行され、ゲレンデ上部に降り立った若い男女らが、コスモスのじゅうたんと砺波平野が織りなす雄大な気色を満喫していました。

## 「コスモスウォッチング」でボランティアが活躍!

工作教室を開いていただきました

竹の子グループ 藤井 恵子 代表  
昭和61年設立 会員数6人



### 「みんなの笑顔とともに」

婦人会を対象に開催された「レクリエーション指導講座」を受講し、「やってみるか」と、仲間と声を掛け合い誕生したグループです。

子どもから高齢者までを対象に、依頼があれば公民館から福祉施設、屋外などどこへでも出かけ、ゲームや歌、簡単な体操、手遊び、折り紙やクラフトなどを教えています。

コスモスウォッチングでは、「作って遊べる簡単なおもちゃ」を、来場者の皆さんと作って楽しみました。

参加している皆さんの笑顔や笑い声が、私たちの活動の原動力です。

市民1人1ボランティア 市民と行政が協働するまちづくりを目指して

## 秋晴れの空を彩る熱気球

～スカイフェスとなみ2009バルーン大会～

10月10日から12日までの3日間、中村グラウンドで「スカイフェスとなみ2009バルーン大会」が開かれました。

初日の10日は、午後6時から、熱気球2基をロープで係留しての夜間搭乗体験が行われ、来場者が上空からの夜景を楽しみました。石川県から訪れた男女は、「気球に乗ったのは初めて。ふわっと静かに上がって気持ちいい。よい体験ができました。」と満足そうな笑顔。バーナーの灯火が気球全体を鮮やかに照らし出し、幻想的な光景が浮かび上がっていました。

秋晴れとなった11日と12日には、朝からバルーン競技が行われました。競技は、風向きを考慮しながら気球の高度を調節し、目標となる気球を追いかける「ヘア・アンド・ハウズ」と呼ばれるもの。全国から集まった色とりどりの気球およそ20基が、大空に吸い込まれるように次々に離陸し、砺波の秋空を美しく彩りました。

